

甲佐町の魅力を発信する古民家で交流を

仁田子にある旧西村邸は民俗資料館として利用していましたが、平成28年の熊本地震で被災しました。昨年度にその利活用について「甲佐町古民家こ

うさてんプロジェクト」で企画し、今年度からワークショップによる改修などに着手しました。2020年に本町の新たな交流拠点として生まれ変わります。



古民家を再生して本町の魅力を集めた施設に

仁田子にある旧西村民俗資料館は、本町の持つ豊かな魅力を集めた交流拠点施設として、2020年に生まれ変わります。

築約140年の古民家をリノベーションした施設は人々が集うカフェを備え、宿泊施設を併設。宿泊施設1階にはリビング・ダイニング、2階には寝室ができる予定です。

古民家が培ってきた長い年月が香る落ち着いた雰囲気たっぷりの癒やしの空間を体験できます。

「古民家プロジェクト」で利活用を企画立案

平成28年の熊本地震で被災



し解体などを検討されていた同館を活用するアイデアは、昨年度「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」と題して検討。町内外から延べ200人が集ったワークショップを9回開催し、交流拠点施設としての再生を企画しました。今年度は、施設として活用するための改修工事に加えて、昨年11月から幅広い交流を目指して「改修ワークショップ」を企画し開催しました。

町内外から広く交流した改修ワークショップ

「改修ワークショップ」は、



甲佐町の温かさをとても感じました

内田 菜里さん
(熊本市・大学2年)

甲佐町にはワークショップで初めて来ました。近所の方が差し入れをくれたり声を掛けてくれたり、温かさを感じました。



本町の魅力を集めた新たな交流拠点として同館をリノベーションするため、町が主催。昨年11月から毎月1回2日間に行われ、延べ4回8日間を開催。町内のみならず町外や県外からも、古民家改修やまちづくり、地域おこしに関心がある人や活動されている人が集い、延べ181人が参加。古民家を通して、文化や技術を学び交流を図りました。

改修ワークショップでは、古民家の良さと日本家屋の文化に加えて、改修やDIYの体験を改修の段階に応じて、大工さんや左官さんの指導の下で楽しく体験します。今年度は土壁作りの下準備（11月）、内壁や天井、床の解体と土壁作り（12月）、格子壁の製作（1月）、土壁の下地製作（2月）の計4講座を開催しました。

土壁の下地となる木ずり壁を製作
第4回となる改修ワークショップは、2月9日（土）・10日（日）旧西村民俗資料館で開催されました。漆喰（しっくい）を乗せていく木ずり壁（壁の下地）の基礎知識と作業方法についての説明からスタートし、早速全員で作業を開始しました。

人が集い交流しながら魅力ある地域づくりを



町地域振興課
木山 真由美
課長補佐

今年度は、計4回の古民家改修ワークショップに、延べ181人という多くの人たちに参加していただきました。

町内はもちろん、遠くは鹿児島県や福岡県からも参加いただき、みんなで交流しながら、わきあいあいと楽しく改修作業ができました。近所の人たちもた

くさん見学に来ていただき、昔から多くの人たちが集い、にぎわっていた西村邸の歴史などもお話をうかがうことができました。

「甲佐町古民家こうさてんプロジェクト」は、旧西村民俗資料館が本町の地域拠点に生まれ変わるために、地域の宝を学び、点と点、人と人をつなげて交流しながら地域づくりを行うものです。このワーク

ショップではもちろん、施設が完成してからも、町内から町外の人までが多く集う交流拠点になってほしいと思います。

改修ワークショップは、来年度も実施する予定です。ぜひ、皆さんご参加ください。



◀旧西村邸改修後のイメージ図



物を作る楽しさを
一緒に学びましょう



北村 努さん
(大工・ワークショップ作業指導)

何でも新しいものを買うのではなく、物を作る楽しさ、家に手をかける気持ちと一緒に学んでいけたらと思います。



完成した木ずり壁と
笑顔で記念撮影

職人の技や工具を使う際のコツを大工さんから教えてもらいながら、12月のワークショップで解体した木材から取り外した釘を再利用して木ずり壁を制作しました。完成後、漆喰を塗ったから見えない場所の名前を書いて、笑顔で記念撮影をしました。

のこぎりやのみを
使って丁寧に作業

その後、土壁の土作りについて説明を受け、参加した子どもたちも一緒に楽しく材料となる土を踏み混ぜました。

午後からは、床下の土入れと締め固めの作業をしました。バケツリレーで土を運び、均一にならしながら木づちなどで叩いていきます。全員で力を合わせて作業しました。

次に、床板を支える根太(ねだ)を受けるための木材の加工作業を実施しました。のこぎりやのみの使い方、こつなどを大工さんに教わり、少しずつ木材に刃を入れ、慎重に作業。近くの人と互いに刃を入れる位置などを相談しながら削りました。最後にカフエスペースで使

町内外の人たちの
ふれあいの場に



多田 路央さん
(大町区)

参加した人の思いが形になっていくのはうれしいです。出来た後も町内外の人たちのふれあいの場になればと思います。

う格子壁を制作しました。格子壁は見える場所に設置されるため、木材を組む部分を丁寧に削りました。終始参加者同士が交流して楽しいワークショップとなりました。皆さんも、ワークショップに参加して生まれ変わる古民家に手をかけるとともに、楽しく交流しませんか。

●お問い合わせ先

町地域振興課

☎096-234-1154

(内線233)